



「一針入魂」。手指のリハビリ及び生活活性化を図る為、作業療法場面で「きんちゃく」を作成しております。昔のように両手を上手に使うことが出来なくても、簡易的に「押さえ」となる道具を作成し、作業が行いやすい工夫をしました。まだ、作成段階ですが、お二人で協力しながら行う事で完成した時の喜びも一入でしょう。今後も「若い時はできたんだけど…」、「昔は得意だったんだけど…」という声を大切にしながら、その方が輝ける瞬間を作っていきたいと思ひます。

■ 居宅いづみインフォメーション

此の度、居宅いづみでは第2回介護サロンを開催致します。詳細につきましては10月中旬に滑川町の回覧板でご案内しますのでご確認下さい。

開催日：11月19日（土）13:00～
場 所：いづみケアセンター
1階ボランティアルーム

■ 10月の趣味の教室

- 書道教室【大倉 佳子先生】
10月 3日（月）
10月17日（月）
2階 13時15分～
- 折紙教室【田中 三枝子先生】
10月 5日（水）
2階 13時30分～
- 詩吟教室【佐藤 譲先生】
10月19日（水）
2階 13時30分～
- 編物教室【梶谷 和子先生】
10月11日（火）
10月25日（火）
2階 13時30分～

■ 10月の行事予定

- 10月28日（金）
「嵐山オカリーナ」様によるオカリーナの演奏会
2階 機能訓練室 13時30分～

■ ボランティア募集

当施設では各種ボランティアを募集しております。ジャンルは問いません。但し充足しているジャンルの場合や当施設の方針にそぐわない場合、必ずしもお受け出来ない場合もございます。まずは下記連絡先までお気軽にお問い合わせ下さい。

TEL：0493-56-6123
担当者：鈴木 恵美子

■ 10月の定例催し物

- 音楽会 【宮岡 久美子様】
10月13日（木）10時40分～ 3階
- 朗 読 【関根 洋子様】【高橋 政子様】
【小川 かづ江様】【木村 房子様】
10月 7日（金）15時30分～ 2階
10月11日（火）15時30分～ 2階
10月20日（木）15時30分～ 2階
10月25日（火）15時30分～ 2階
10月26日（水）15時30分～ 3階
10月27日（木）15時30分～ 3階

■ 編集後記

2016年も残り3か月となりました。時が過ぎるのは早いですね。今年やり残している事はございませんか？
編集責任者 金子 弘幸

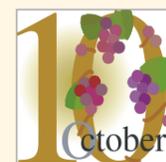


いづみのホームページ <http://www.kokoro.or.jp/izumi-care/>

介護老人保健施設いづみケアセンター



〒355-0807 埼玉県比企郡滑川町和泉 873
TEL0493-56-6123 FAX0493-56-6124



「自分に出来ることは何か」を問う



生活ケア部長
石川 ゆき子

若かりし頃を振り返ると、姉の様に慕っていた従姉（看護師）のお陰で然程悩む事なく看護師になると決めました。その当時は4週4休で休診日は平日に1日だけでしたが寮生活の為、深夜でも救急要請が入れば容赦なく呼び出されます。どんなに忙しくても、失敗をして先輩方に叱咤されても私は「辞めたい」と考える事はありませんでした。それは1日も早く「先輩のような心の通う看護師になりたい」と思っていたからです。経験を重ねて行くうちに技術を身につけ、患者様に頼りにして頂ける様になりました。厳しさの中で仕事の面白さを見つけ自分の仕事に誇りを持つようになったのです。その後、縁があり医療法人昭友会埼玉森林病院に就職させて頂きました。

さて、私がいづみケアセンターに異動になり、18年の月日が過ぎました。自らの体験から介護現場の長として果たすべき役割を再確認したいと思ひます。同居していた義父は認知症を患いながら在宅での生活を継続していました。深夜に「子牛が逃げた」と騒ぎ、外に出る事もありました。決して行動を制止せず見守っていると暗闇と寒さで家に戻りました。義父にその記憶は無く笑顔を見て家族は安心したものです。しかし、体調を崩してやむを得ず入院しベッド上で治療を開始すると身体拘束され全身状態は悪化するばかりです。家族との面会も制限され笑顔も失われました。「家に帰りたい」との意思表示も空しく悲しい最期のお別れになりました。その数年後、義母が体調を崩しました。義母は元気な頃から「延命治療はしないで欲しい」と話しており、最期を迎えるまでの数ヶ月間を実の娘と過ごし、食べたい物を口にして昔話を語りつつ自宅で家族皆に看取られ息を引き取りました。そして、私の実父は全身に腫瘍が見つかり精査と治療を勧められましたが頑固な父は一切受け入れず、「オムツもチューブもセンサーも、何より痛いのは勘弁してくれ」と懇願していました。そして父の意思を尊重して尊厳を守って下さった医療スタッフの皆様には大変申し訳ない思いと同時に心から感謝しております。高齢者施設で働くという事は終末期ケアと常に背中合わせの状況です。自己の体験を踏まえ、常に最良と最悪の結果を想定して、「その人らしい生き方」を優先して行きたいと考えています。勿論、事故を防ぎ、病気を治して元気を取り戻す事が最優先されるのは言うまでもありません。楽しい人生であって欲しいと願って止みません。工夫を凝らし、知恵を活かして居心地の良い生活空間創りに最善を尽くして参りたいと思ひます。

最後に、懸命に職責を果たす職員全員が私の誇りです。ご利用者、ご家族、そして職員も健康で健やかな日常を送り、来年の「長寿を祝う会」を楽しみにして頂ければ幸いです。

長寿を祝う会



職員の全員合唱



受賞の様子



利用者様による謝辞



アルトサックスの演奏

毎年「敬老の日」に開催される長寿を祝う会で利用者様の御長寿をお祝いさせて頂きました。今年、喜寿、米寿、白寿の方々表彰されました。表彰の際、皆様の凛とした表情は感動に値するものでした。また、第二部での小室孝文氏によるアルトサックスの演奏と、サプライズで職員による合唱の披露は、利用者様がとても喜んで下さり、披露する側も感動し、共に心に残る演奏会となりました。表彰された皆様、誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。

通所課長寿を祝う会



9月14、15日に通所課長寿を祝う会を開催しました。毎年恒例の職員による余興は落語「寿限無」を行いました。会場が笑い声一杯になりました。利用者様と家族様に参加頂いた「ちゃ〜がんじゅう体操」は音楽に合わせて楽しく踊る事が出来ました。

全老健大会で演題発表

平成28年9月14日から16日までの3日間、大阪府大阪市に於いて「第27回全国介護老人保健施設大会」が開催されました。当施設からは3名の職員が自分達の取り組みやその成果を演題発表致しました。演題名は下記のとおりです。

■ 生活ケア部 入所課係長 吉澤完志さん（介護福祉士）

誤薬0（ゼロ）を具現化する為に
～「投薬検定」を導入して～

■ 生活ケア部 入所課 小林美穂さん（看護師）

褥瘡はスタッフみんなの絆で治す！！
～ラップとパッドを用いた劇的改善法～

■ 支援部 相談課 丸本春代さん（支援相談員）

「ありがとう」の言葉に導かれて
～希望を叶える介護とは何か～

優秀奨励賞を受賞！！

昨年開催された「第26回全国介護老人保健施設大会」で総数1,347演題の中からリハビリテーション課内田智子さんの発表した演題が、見事優秀奨励賞を受賞しました。施設での取り組みが全国でも認められ、職員の励みになります。今後更に磨きを掛けて努力して参ります。

■ 演題名

多職種連携を円滑にした私達の取り組み
～ケア現場に介入することの意味～

新入職員紹介

①氏名 ②職種
③趣味 ④一言
メッセージ



①田中沙季
②介護福祉士
③バレーボール
④「全力」で頑張りますので宜しくお願い致します。

いづみ夏祭り



盆踊り

スイカ割り



焼きそばとフルーツ

やぐらを囲んで賑やかな盆踊りが始まり、「ドンドンドンドン」。鳴り響く力強い太鼓の音で心も揺さぶられました。いつしかボランティア様、家族様、利用者様、職員が一体となり会場のボルテージは最高潮に…。盆踊り終了後は様々な模擬店を出店しました。天候にも大変恵まれ、良い夏祭りとなりました。

通所課夏祭り



8月15日～19日に亘り、通所夏祭りを行いました。太鼓の音頭から始まり、盆踊り、ジュースすくいゲーム、屋台の食べ物と盛り上がりました。暑い夏を乗り越えられる程、元気で賑やかな夏祭りとなりました。